

第2期 綾川町国民健康保険  
保健事業実施計画  
(データヘルス計画)  
中間評価

平成30年度～令和5年度

令和3年3月

綾川町

## 目 次

第1章 基本的事項	1
1. 計画の背景及び目的	1
2. 中間評価の主旨	1
3. 中間評価の方法	1
第2章 中間評価	2
1. 中間評価の総括	2
2. 判明した現状と課題	2
別表 中間評価一覧	3
第3章 今後の取組に向けて	4
1. 目標実現に向けた取組	4

## 第1章 基本的事項

### 1. 計画の背景及び目的

現在の日本社会では、生活環境の変化や超高齢社会の進展に伴って、疾病に占める生活習慣病の割合が増えてきています。綾川町国民健康保険においても、被保険者の糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病が総医療費の約40%を占める状況であり、これらの社会的変化に対応した取り組みがより一層求められてきています。

一方で、特定健康診査の実施や診療報酬明細書（以下「レセプト」という。）等の電子化の進展、国保データベースシステム（以下「KDB」という。）等の整備により、国保保険者が健康や医療に関する情報を利用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

こうした中、「日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）」においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表・事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取り組みをおこなうことを推進する。」とされ、保険者レセプト等を活用した保健事業を推進することとされています。

本町においては、糖尿病の受療率が高いことや、糖尿病が原因の腎不全や虚血性疾患が多いことなど、生活習慣病の予防や重症化予防対策が急務となっており、平成28年から29年度を綾川町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に引き続き平成30年度からの6年間を期間とする第二期データヘルス計画を策定し、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの両輪で、保健事業に取り組んできました。

### 2. 中間評価の主旨

第二期データヘルス計画を策定し目標を定めて保健事業に取り組んできましたが、3年間の経過し、計画で定めた目標の達成状況を確認するとともに、残り3年間の保健事業の方向性や目標を明らかにするために、中間評価を実施します。

### 3. 中間評価の方法

第二期データヘルス計画では、長期目標については健康増進計画策定時のアンケート結果及び、KDBシステムより抽出し、比較・評価します。

短期目標については各事業の実施状況及び進捗状況を、別紙のとおり評価します。

## 第2章 中間評価

### 1. 中間評価の総括

#### 【長期目標】

健康に関心を持つ人は増加しているが、医療費の改善には至っていない。

#### ①健康に関心を持つ住民の増加

健康診査を受けている人や歩いている人が減少している。

体重を測定したり、自分の体にあった運動をしている人は増加している。

		人数 (人)	割合 (%)			
			している	時々する	ほとんど しない	無回答
①定期的に体重を測っている	今回調査	482	47.7	34.0	12.4	5.8
	前回調査	310	45.2	31.9	20.6	2.3
②できるだけ歩くようにしている	今回調査	482	33.8	37.6	22.8	5.8
	前回調査	310	38.4	35.8	23.5	2.3
③自分の体力や健康状態にあった運動をしている	今回調査	482	24.3	35.7	34.0	6.0
	前回調査	310	21.9	33.9	41.6	2.6
④定期的に健康診査を受けている（がん検診を含む）	今回調査	482	62.2	19.9	12.0	5.8
	前回調査	310	62.9	21.0	14.2	1.9

第3次 綾川町健康増進計画

#### ②虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症の減少

虚血性疾患は減少しているが、人工透析者数は増加しており、糖尿病が原因の人工透析患者が急増している。

	虚血性心疾患	脳血管疾患	人工透析	糖尿病性腎症
H29年11月	266名	318名	29名	13名
R2年11月	234名 ↓	314名 ↓	30名 ↑	18名 ↑

KDBシステム 厚生労働省様式3-5~7

#### ③医療費増加の抑制

1人当たりの医療費については増加しているが、県内順位は改善している。

	H29年度	H30年度	R1年度
1人当たり 医療費	34,180 (県内5位) (同規模3位)	33,589 (県内8位) (同規模4位)	34,912 (県内7位) (同規模3位)

KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

## 【短期目標】

### 1) 評価指標の「改善」となった項目

- ・ 特定保健指導未利用者対策

特定保健指導用率： H29年度 37% ⇒ R1年度 48.75%

- ・ 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病受診勧奨票返信率： H29年度 36.3% ⇒ R1年度 58.3%

CKD受診勧奨返信率： H29年度 48.5% ⇒ R1年度 57.8%

### 2) 評価指標の「悪化」となった項目

- ・ 特定健診受診率向上事業

特定健診受診率： H29年度 58.2% ⇒ R1年度 57.6%

- ・ 若い世代健診受診勧奨事業

若い世代健診受診率： H29年度 7.2% ⇒ R1年度 6.3%

## 2. 判明した現状と課題

計画の長期目標としてきた、糖尿病が原因の腎不全の減少については、糖尿病性腎症重症化予防事業として、健診結果で糖尿病や慢性腎臓病の治療が必要な人に受診勧奨を実施しており、事業自体の目標となっている利用率の増加については改善しているが、糖尿病が原因の腎不全を抑制することには繋がっていない状況です。

健康に関心を持つ住民の増加については、ポピュレーションアプローチの継続に加え、特定保健指導の利用率が上がっていることなどが改善の要因として考えられます。

医療費を抑制するために、定期的に健診を受診し、生活習慣を見直すことが重要とされていますが、特定健診だけでなく特定健診40歳前勧奨として実施している若い世代健診の受診率も低下しており、今までとは異なるアプローチを検討する必要があります。

## 第3章 今後の取組に向けて

### 1. 目標実現に向けた取組

#### ①特定健診未受診者対策及び継続受診対策の強化

ヘルスアップ事業として、受診勧奨及び情報提供について業者委託し、効果的な受診勧奨及び情報提供を実施し、継続受診を働きかけます。

#### ②特定健診 40 歳前勧奨事業の強化

若い世代健診の検査項目を特定健診と同等に見直し、国保加入者の対象者受診勧奨を実施します。

#### ③コロナ対策を講じたポピュレーションアプローチの実施

コロナ禍の外出自粛等による弊害も見受けられる中で、対策を講じながら働きかけを継続実施します。

#### ④高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討・実施

綾川町では、健康増進事業及び国保の保健事業についてはえがお・いきいきセンターが、一般介護予防事業については地域包括支援センターが取り組んでいます。

綾川町の健康課題として、要介護認定率の高さ、また要介護者の有病状況として糖尿病、心臓病、脳疾患の多さがあげられます。今後、後期高齢者が増加する中で、健康課題を共有しながら一体的に取り組むことが重要となってきます。

第2期の後半では、効果的な一体的実施について検討し、できるところから取り組んでいきます。